

企画展

刊本・摺物ワンダーランド

江戸・明治の出版文化

3月28日(金)▶

6月29日(日)

『九尾狐 安部泰成 中村芝翫』（個人蔵）
文久3年（1863）／歌川国貞画



『北越奇談一』（当館蔵）
文化9年（1812）／河内屋茂兵衛刊
橘崑崙述・柳亭種彦校・葛飾北斎画



『蓑笠雨談』（当館蔵）
享和4年（1804）／葛屋重三郎刊
曲亭馬琴作

同時開催

トピック展

生誕150周年 山田英夫
～会津・長州・那須を繋ぐ～

那須歴史探訪館



休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

開館時間：午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

那須町大字芦野2893 TEL.0287-74-7007

江戸時代前期に上方で盛んとなった出版文化は、江戸中期になると江戸でも独自の隆盛を極めました。

出版物や摺物の増加は、識字率の向上など庶民層の読者が増加した社会的背景によるもので、庶民向けの戯作や浮世絵などが多く広まりました。

本展では、当館所蔵の刊本や摺物を中心に当時の出版物の数々をご覧くださいとともに、那須地域ゆかりの九尾の狐・殺生石」を題材にした高井蘭山作『絵本三国妖婦伝』や曲亭馬琴作『殺生石後日怪談』、歌川国貞が描いた九尾の狐の浮世絵についてなどもあわせてご紹介いたします。

◆講座「殺生石の由来と歴史的背景」

- ・日時：5月10日（土）14：00～15：30
- ・場所：那須町文化センター研修室
- ・定員：20名
- ・講師：齊藤宏壽氏（那須歴史探訪館元館長）
- ・申込：電話0287-74-7007



『御家商売往来』（当館蔵）
江戸時代（19世紀か）／美濃屋千八・藤屋棟助刊



「八満山光蔵院護符」（当館蔵）
江戸時代か



『東都佃島之景』（当館蔵）
江戸時代（19世紀）／昇亭北寿画



『一名八犬伝 犬の舛舛』（当館蔵）
嘉永3年（1850）／葛屋吉蔵刊
笠亭仙果作・歌川国貞（3代目歌川豊国）画

◆トピック展

生誕150周年 山田英夫 ～会津・長州・那須を繋ぐ～

会津藩主であった松平容保の3男として誕生した山田英夫は、長州藩出身で司法大臣等を歴任した山田顕義の娘と結婚するとともに山田家の家督を相続します。英夫は、黒田原駅前新市街地の設定、山田農場の経営にあたりました。那須町に遺る山田英夫に関わる資料を紹介します。



◆入館無料日

5月18日（日）
6月8日（日）
6月15日（日）

◆展示解説日

4月27日（日）
6月15日（日）
各回14：00～

会 場：那須歴史探訪館（那須町大字芦野2893）

お問合せ：0287-74-7007

開館時間：午前9時～午後5時

（最終入館時間は午後4時30分）

休 館 日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

観 覧 料：大人200円/団体100円（20名以上）

M割100円/中学生以下無料

※身体障害者手帳等をお持ちの方と介添え者1名入館無料

